

平成 16 年度計算力テスト実施結果について（概要）

千葉県高等学校教育研究会数学部会研究委員会

太田 恭正（船橋東高等学校）他 7 名

1 実施学校数

平成 16 年度の実施学校数は 56 校であり、述べ 57 学科の抽出データを得ることができた。実施者数も 1 万人を突破した。

	実施学校数	実施者数	平均点
H14	46	9017	69.1
H15	39	8039	67.8
H16	56	10556	67.5

2 実施時間

実施時間は各校にお任せしています。

実施時間は各校さまざまであるが、40 分で実施したのが 13 校、50 分で実施したのが 31 校であった。「50 分で実施しなければならない」と誤解している学校があったようなので、実施時間は学校裁量であることをここで確認させていただきたい。

実施時間（分）	学科数
20	1
30	3
35	2
40	13
43	1
45	5
48	1
50	31
計	57

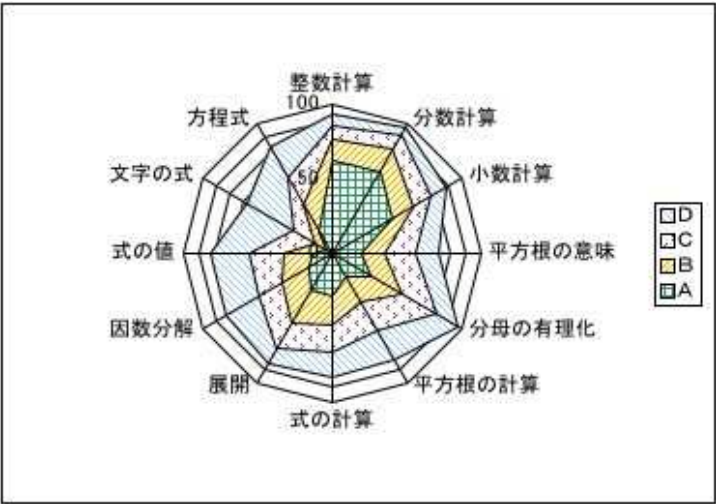
3 全体的な傾向

例年通り、平均点をもとに四つのグループに分けて分析する。

グループ	学科数
A(40 未満)	12
B(40 以上 60 未満)	12
C(60 以上 80 未満)	14
D(80 以上)	19

「整数計算」、「分数計算」、「小数計算」は、どのグループもよくできているが、それ以降については、各グループ間の平均点の差が大きくなっていく。

今年度も「平方根の意味」、「文字の式」の出来が極めて悪い結果となった。



4 三ヶ年の結果比較

どの年度の折れ線グラフもだいたい似た形をしているが、ほとんどの設問の平均点は年を追うごとに下がっている。「文字の式」の落ち込みかたは急激である。しかし、そのような中で「平方根の意味」の正答率のみが、平成 14 年度は 43%、15 年度は 47%、16 年度は 49% と増加している。

5 今後について

「計算力テスト」を実施することにより、自校の生徒の計算力の実態を把握することができる。実際に実施参加校の先生方から寄せられた感想をみても「実施してよかった」という内容のものが多い。

研究委員会で作成した分析資料をもとに、県内の中学生・高校生の計算力について、県内数学科の教職員全体で考えていくことができれば、こんなすばらしいことはない。そのためには、中学校・高等学校の教職員同士の積極的な情報交換を行なう場が必要不可欠であり、ぜひとも実現させたいと思っている。

計算力テスト実施の趣旨を先生方に御理解していただくことにより、平成 17 年度については、さらに実施参加校が増えることを期待したい。

